

プロトコール名 5-FU+CDDP/RT併用療法

- 進行・再発癌 術後補助化学療法 術前補助化学療法
 大量化学療法 局所療法 その他(放射線治療併用)

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	フルオロウラシル(5-FU)	1000 mg/m ²	点滴静注	24時間	d1~4
2	シスプラチン(シスプラチン・CDDP)	75 mg/m ²	点滴静注	2時間	d1
3	Radation	1.8 Gy			28日間 (土日は除く、総線量50.4 Gy)
5					

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	28日間(FP療法として)
総コース数	化学療法として2コース(同時併用放射線療法) ただし効果判定でCRまたは、PRのいずれであった場合には、追加化学療法としてFPを2コース追加可能。

減量規定・中止基準	休薬基準; WBC<2500/mm ³ 、PLT<75000/mm ³ 、Grade3の悪心、嘔吐、食欲不振、食道炎、下痢、sCr>1.5、T-bil>2.5、AST、ALT>100、他のGrade2以上の副作用、放射性肺臓炎 減量基準; 2000<WBC<2500; 5-FUとCDDPの投与量を50%減量、RTは継続。白血球減少、好中球減少、血小板減少; Grade4、または口内炎、下痢; Grade3-4発現した場合、その後の化学療法は25%減量。
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	5-FU→CDDP(day1)
プレメディケーション・ポストメディケーション	プレメディケーション イメンド(125-80-80)、デキサメタゾン(9.9-6.6-6.6)

患者条件

※CTCAE v4.0

- ・組織学的に食道扁平上皮癌、腺扁平上皮癌、腺癌のStage II・III(ただしT4を除く)
- ・Cr<1.2mg/dl、60 ml/min<24CCr
- ・T-bil<1.5mg/dl、AST、ALT<100、SpO2>95%
- ・10 g/dl <Hb、4000/μl <WBC、10 × 10⁴/μl <PLT

除外規定

- ・PS3以上
- ・5-FU、CDDP(または白金を含む製剤)に対し重篤な過敏症の既往歴あり
- ・妊婦又は妊娠している可能性あり
- ・感染症合併、および発熱を有し感染症を疑われる患者

実施上の注意点

化学療法中は毎日体重測定(朝)ならびに、尿量測定(24時間尿)を行う。化学療法開始当日の体重と比較して、+1.5Kgの場合若しくは、尿量が1500 ml以下の場合にはラシックス注20mgを静注する。それでも体重増加がある場合、体重測定を1日2回朝夕に増やして、その度に上記の基準を満たせばラシックスを追加投与する。

- ・高齢者の場合は減量も検討する(臨床試験では20-70歳まで)